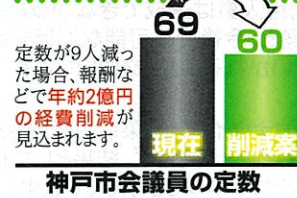




満場一致で ウクライナ侵攻に抗議

ロシアによる ウクライナ侵攻に抗議する決議が満場一致で採択されました。また、神戸市及び神戸市会の連名で緊急支援金としてユニセフを通じ、ウクライナへ1,000万円を拠出。さらに神戸市会から100万円を追加拠出しました。令和4年3月1日



神戸市会議会制度改革検討会が開催され、市会議員の定数削減について議論。我々維新会派は9減を強く主張しました。

令和4年度各会計予算並びに関連議案について 日本維新の会神戸市会議員団は要望を付して承認しました

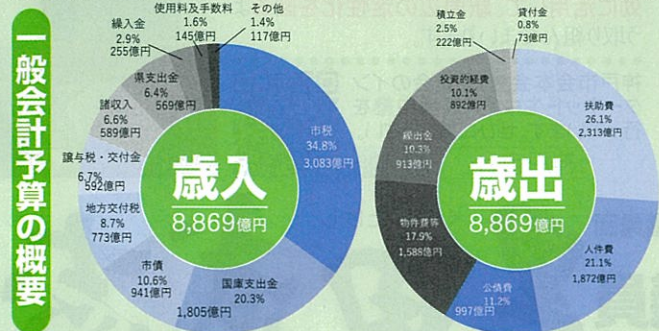
令和4年度予算では限られた財源の中、感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保や市民生活・経済活動の維持・回復を優先的に組まれた事に関して、一定の評価をいたします。誰もが学び、働き、子育てし、住み続けるまちとして神戸が選択されるよう市民目線に立った施策を推進しながら、「行財政改革方針2025」を基に、さらなる改革をこれまで以上の決意とスピード感を持って実行することを期待し、令和4年度各会計予算案ならびに関連議案を承認いたします。

- 要望**
- 王子公園再整備基本方針については、市民・利用者の意見を十分に考慮のうえ、柔軟に素案を見直し、より少ない財政負担で最大限のポテンシャルを発揮し得る持続可能な都市公園の再整備を進めること。
 - DXの推進により市役所の組織風土を変革しつつ、行政手続きのオンライン化や、リモート相談窓口など市民や事業者が区役所に来庁せずに済む環境作りの拡充など、市民の視点に立った行政サービスの向上を図ること。
 - 女性職員の活躍施策を全庁横断的に推進し、課長級以上の職員の数値目標を着実に達成していく取り組みを継続し、民間人材の登用をより積極的に図ること。
 - あしんすこやかセンターや地域の自治会、老人会などと連携しながら、介護予防・フレイル対策の一体的な実施を推進していくこと。
 - 家庭の経済状況による教育格差の是正と、子育て世帯の負担軽減を図る塾代助成事業を実現するための制度設計や環境整備を進めていくこと。
 - 出産費用や妊婦健康診査の補助、高齢出産や低出生体重児のためのケアを拡充すること。
 - 2025年に開催される大阪・関西万博の企画・運営に積極的に関わり、市内事業者への受注機会の確保をはじめ、神戸経済の活性化に繋がる取り組みを推進すること。
 - 地下鉄・バスの減便やダイヤ改正など市民に負担を求めるのであれば、まずは交通局においても効率的な運行体系の構築や、休暇取得の平準化、勤務体制の見直しなど徹底した経費削減による経営改革・業務改善を図ること。
 - 中学校給食全員喫食制への移行までの間、保温食缶を活用し、できるだけ頻度を増やし多くの中学校で実施すること。また民間デリバリーや親子方式については調査・検討を早急に始め、給食センターの供用開始を待たず、可能な手法は前倒しで実施していくこと。
- (他合計23項目を要望)

令和4年度 神戸市の予算 海と山が育むグローバル貢献都市の実現

予算総額: 1兆8,804億円(前年比: +273億円)

- 一般会計: 8,869億円(前年比: +165億円)
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などによってまかなわれます。
- 特別会計: 6,605億円(前年比: +70億円)
特定の収入で特定の事業を行う会計です。国民健康保険や介護保険、市営住宅など、神戸市では11会計あります。
- 企業会計: 3,330億円(前年比: +38億円)
主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で事業を行う会計です。バスや地下鉄、上下水道など、神戸市では7会計あります。



一般会計の支出を市民一人あたりにすると 58万円になります

福祉の充実に 約23.7万円	教育・文化の振興に 約9.4万円	環境・衛生の向上に 約5.0万円
道路・公園に 約2.9万円	産業の振興に 約0.8万円	住宅・まちづくりに 約3.1万円
消防・救急に 約1.3万円	市会・区役所・市役所の行政の運営などに 約5.7万円	市債の返済に 約6.6万円

日本維新の会神戸市会議員団 市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 https://kobe-ishin.jp/info@kobe-ishin.jp

日本維新の会神戸市会議員団政調会長
神戸市会議員
くろだ たけし 西区選出

黒田武志

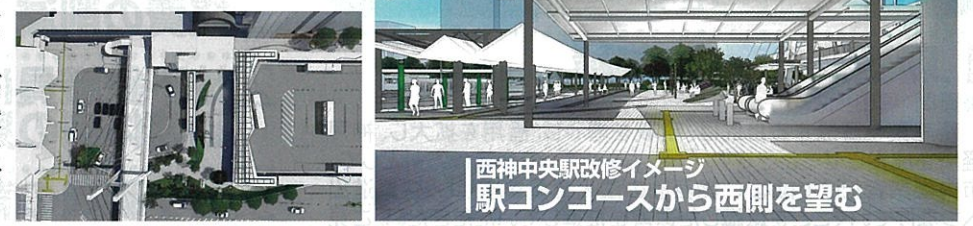


予算特別委員会で質問する神戸市議員 黒田武志

令和4年度予算特別委員会で、「企画調整局」「交通局」「都市局」に対し局別審査を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしました。ぜひ、ご覧ください。

市政報告 西区の問題点を神戸市政に伝えるため、積極的に行動・発言を続けています。西神中央駅西側駅前広場の再整備

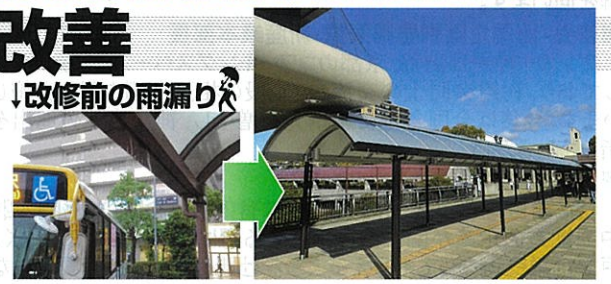
バスロータリーが縮小し、広がった歩行者空間に花時計やベンチ、上屋、照明の設置等が行われます。エスカレーターの設置も含め、令和5年春頃完成を目指していますが、時期は延びる可能性があるそうです。



西神中央駅改修イメージ 駅コンコースから西側を望む

学園都市駅前の屋根を改善 バス待ち時間も快適に

昨年、学園都市のバス停をご利用の方々から要望を受け、取り組んでいた屋根の雨漏りの問題。排水口に詰まっている落ち葉・泥等を撤去、防水処理については完了済。キャンパススクエアまでの屋根工事も3月末に完了です。



歩道改修工事が完了し、西神南駅前駐車場への入庫がしやすくなりました

入り口付近に植栽が張りだしていたため、西神南センタービル前の来客用駐車場へ入庫しにくいという問題がありました。この度、駐車場部分の工事に続き、歩道の改修工事も完了し、入庫しやすくなりました。OMこうべ(外郭団体)と建設局に、歩道を通行する歩行者と自動車の安全な横断を検証のうえ、対応していただきました。



西区役所新庁舎オープン

西区役所(西区玉津町小山)は、昭和57年8月の西区発足から40年間、玉津町で業務を行ってまいりましたが、西神中央へ移転し業務を開始しました。移転に伴い、西神中央出張所は廃止となりましたが、「玉津支所」として業務を開始しました。

※福祉総合窓口や窓口業務への予約機能など神戸市初の取り組みも... 神戸市西区

- 場所: 〒651-2295 神戸市西区糀台5丁目4番地の1
- 電話番号: 078-940-9501
- 駐車場: プレんティ駐車場の利用者は1時間の無料駐車券をお渡しします

黒田武志: 単なる届け出や証明書の手続きに行く場所ではなく、保険年金医療や健康福祉、子ども家庭の支援などの相談窓口の充実。また交流や発信の拠点として、区民の皆様の利便性・快適性向上に資する区役所になるよう期待し、要望を続けてまいります。

神戸市 KOBETV 新型コロナ ワクチン接種

※事前予約はホームページからが便利です。お電話でも予約可能です▶078-277-3320(平日:08:30~20:00 土日祝:08:30~17:30)

由 新型コロナウイルス専用健康相談窓口 078-322-6250(24時間受付 多言語対応)

- 新型コロナウイルスの感染を心配されている方
- 予防・感染症に対する相談のある方
- 感染者と接触があった方



令和4年 予算特別委員会 局別審査

日本維新の会神戸市議員団
黒田武志

企画調整局

令和4年3月1日

1. 新産業の育成・集積

■質問: 黒田武志

新産業を育成する目的は、税収を増やし、雇用を拡大し、神戸経済を成長させることです。「アンカー神戸」の今後の方針として、市内事業者だけでなく、関西圏の法人会員を増やし、企業進出へつなげていくことを意識した運営を推進していただきたい。ご見解を伺います。

■答弁: 西尾企画調整局医療・新産業本部長

アンカー神戸は渋谷、京都のワーキングスペースとも連携をいたしており、利用者同士の交流会、施設の相互利用などを実施しています。今後は全国各地に連携先を増やし、神戸市への進出を目指していきたい。

■質問: 黒田武志

特に西日本の主要都市へのPRIは有効ではないか。北陸、四国、中国地方の企業が関西に進出をする際は、大阪だけではなく、神戸で企業交流してもらえそうな仕掛けづくりが必要ではないか。ご見解を伺います。

■答弁: 垣内企画調整局新産業部長

神戸は地理的にも中国、四国地方から進出しやすいということもあり、既に意向調査などを行って、重点的に企業誘致を進めている。さらに、イノベーション創出の分野におきましても、イベント開催など、アンカー神戸の運営事業者と協議しながら進めていきたい。

2. 地域課題解決のための NPO等への補助

■質問: 黒田武志

地域課題の解決を進めるNPO等を対象とした補助制度を新設することですが、地域の担い手不足が進む中、有効な手段であると考えます。その一方で、一律の補助制度を当てはめるのが難しいと思っております。補助額や補助対象など、具体的な制度設計をどのように想定しているのか。ご見解を伺います。

■答弁: 辻企画調整局長

NPOや地域団体も対象とし、多くの団体に活用いただくことを想定しています。補助額は最大で年間50万円、2年目以降は段階的に減らし、最大3年間で自立して活動を継続できるように考えています。地域課題解決に向けたコーディネート力の向上を図りたい。

3. スマートシティの推進と 情報セキュリティ対策

■質問: 黒田武志

西区役所における「転出入届のスマート化の実証実験」の利用率、利用者の声、課題等を踏まえ、今後どのように進めていくのか。また、個人情報保護と機密情報保護の観点は、非常に重要です。システムの構築・運用には情報セキュリティ対策に万全を期していただきたいと思っております。ご見解を伺います。

■答弁: 森企画調整局デジタル戦略部長

昨年10月27日から住民票の住民異動に関するスマート化の実証実験が始まっています。1月末までの利用率は全体の1~3%程度となっており、この利用率をいかに向上させるかということが課題です。

交通局

令和4年3月4日

1. 自動車事業(バス)会計における 経費の削減

2. 地下鉄職員における 勤務体制の見直しと予備勤務者

3. 若手職員の育成

■質問: 黒田武志

組織を活性化するため、優秀な若手職員に様々な職場などを経験してもらうことによって、将来の幹部候補に育てていく必要がある。市バス職員や地下鉄職員の若手を育成するためのキャリアアッププランについて、交通局ではどのようなビジョンを描いているのかお伺いします。

■答弁: 城南交通局長

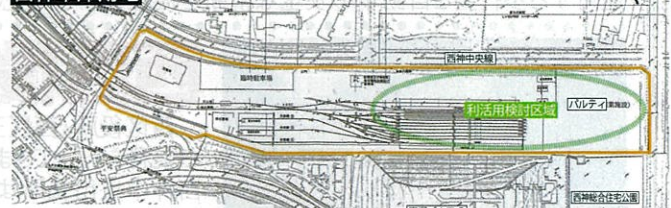
令和4年度から、現場の経験を生かして経営改革業務に従事していただける方を市内公募し、現場経験をしていただいて、交通事業に関する専門的な知識を醸成していただくと考えています。こういう取組で交通局の専門性を高め、発展につなげていきたい。

4. 交通局保有資産の有効活用

■質問: 黒田武志

「西神車庫用地」について、面積が広いことにも加え、現在は商業施設等も立地していることもあるため、単に行政側だけで計画を進めるのではなく、近隣住民等の声を聞き、どのような需要があるかを把握するなど、その利活用について方針を決定する必要があります。ご見解を伺います。

■答弁: 城南交通局長



■答弁: 城南交通局長

売却などの利活用を検討していきたいと考えています。また、利活用に当たっては、①人口減少対策になるかどうか。②西神ニュータウンの活性化やまちづくりへの貢献に寄与するかどうか。③交通局

の経営改善に寄与できるかどうか。こういうことを重視し、関係各局と調整を図りながら進め、より住民のニーズに合った利活用ができるよう検討していきたい。

■質問: 黒田武志

「伊川谷駅前の用地」について、令和4年度予算において事業者公募の準備や都市計画変更の手続きを進めると聞いております。具体的にどのような利活用を検討しているのか。また伊川谷駅前には食品を売るスーパーが立地しておらず、このような商業施設の誘致も検討すべきと考えますが、いかがでしょうか。

■答弁: 習田交通局副局長

伊川谷駅前の用地は、契約している事業者との契約が満了を迎えるということで、住宅供給に重点を置いた検討を開始している。あくまで概算になりますが、分譲マンション200戸程度の住宅供給が可能ではないかと考えています。また、魅力的な住環境を整えるために、スーパー等の商業施設の誘致についても検討していきたい。

5. 定期券のWEB予約

■質問: 黒田武志

令和2年度の決算特別委員会において、我が会派より定期券のWEB予約サービスの導入について提案させていただきました。このほど、令和5年度3月末に導入されるということで大変評価しております。今回のWEB予約システムの導入によってどの程度定期券発売所の混雑が緩和されるのか。また、この他どのような混雑緩和策を考えているのかお伺いします。

■答弁: 習田交通局副局長

今現在、多いところでは1時間ぐらいお待ちいただいている。できる限り短くするという気持ちで進めたい。自動定期券発売機について、これまで継続購入だけでしたが、新規購入も対応していきたい。特に新入生の方に今年度から合格証明書により3月の時点でお買い求めいただけるような形で考えている。

都市局

令和4年3月8日

1. サンキタ通り・ 三宮センター街の魅力向上

■質問: 黒田武志

神戸三宮阪急ビル沿道は路上にオープンテラスが設けられるなど、多くの若者が行き交い、おしゃれな通りになりました。その一方で北側の商店街は昔ながらの雑多な雰囲気を残したままで、魅力は乏しい。サンキタ通りのさらなる魅力向上に向けて、今後どのように取り組んでいくのかお伺いします。

■答弁: 中原都市局都心再整備本部長

さんきた実行委員会をつくり、活用方を議論しながら、芸術文化の発信、夜市の開催、音環境づくりの実証実験などにぎわい創出に取り組んでいます。サンキタ通りが市民の方や来訪者から親しまれるように、こういったエリアマネジメントを進めてまいります。

■質問: 黒田武志

三宮センター街を訪れる人は、商店街として一体的に捉えるもので、連携をより密にしながら集客を考えていく必要がある。将来再整備によってこのセンター街が全体としてより魅力的な空間になるため、ビル間の連携を図りながら検討できるよう、市としても支援していくべきと考えますが、見解を伺います。

■答弁: 光平都市局担当部長

まち全体としての魅力向上のためにも、再整備に向けた連携が必要と考えており、将来の在り方について連携して考えていけるよう、市としても支援を行ってまいります。

2. 地域コミュニティ交通に 対する支援

■質問: 黒田武志

路線バスで対応できない地域の生活の足を確保するため、地域コミュニティ交通の導入に取り組んでいます。例えば西区の学園東町において、令和3年10月~令和4年2月の間、試験運行が行われましたが、目標としていた利用人数は達成できなかったと聞いております。明らかになった課題と、今後持続可能な運行を実現するためにどのように取り組んでいられるのか、お伺いします。

■答弁: 白井都市局担当部長

このたびの試験運行では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、潜在需要の掘り起こしを十分に行うことができず、結果として継続的な運行に必要な利用者数が得られなかったと考えています。運行計画の見直しを行った上で、令和4年度に再度試験運行を行い、このバス車両による運行形態が適切かということも含め、学園東町の実情に応じた地域コミュニティ交通の実現を目指したい。

■質問: 黒田武志

西区や北区など公共交通の空白地域の解消には、交通局や民間事業者とも連携し、鉄道や路線バス、地域コミュニティ交通等を適切に組み合わせることにより、地域の実情に応じた交通ネットワークを構築していく必要があると考えます。また持続可能な移動手段を確保し維持するためには、地域住民の様々な協力が必要なことから、地域コミュニティのこの運行事業への参画や、利用啓発の促進についてもお伺いします。

■答弁: 小島都市局担当部長

地域のニーズに合わせた交通ネットワークをいかに効果的に組み合わせるかが、非常に重要でございませう。地域コミュニティ交通の検討地域は、比較的需要が小さいエリアでございませうので、地域に根差した運行を行い、地域住民自らが主体的に乗って支え、需要を喚起する活動が非常に重要になります。当事者意識を高めていただきながら地域と共に考えて、実現していくという取組を進めていきたい。

3. 西神中央駅前空間の有効活用

■質問: 黒田武志

市民生活の利便性、快適性に直結することから、西区役所新庁舎や新西図書館など、公共施設の再配置により生じる空きスペースの活用や、商業施設のリニューアルに当たっては、この地域の課題や住民の声を把握した上で、進めることが重要であると考えます。今後どのように地域ニーズを把握し、駅前空間を有効活用していくのか、見解を伺います。

■答弁: 鈴木都市局局長

駅近くの西区文化センタービルにおきましては、「こべっこあそびひろば・西神中央」として、令和5年5月開設の予定です。近日中にSNS等を活用したアンケート調査を実施予定で、その結果を踏まえて具体化していきたい。今後とも引き続きOMこうべとの連携をしまして、駅前空間を有効に活用して、駅周辺の活性化を図るよう取り組んでまいります。

神戸市会本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継を行っています。ぜひご覧ください。

神戸市会



新しい力が未来を開く!!

日本維新の会 神戸市議員団 政調会長 **黒田武志** (西区選出)



果敢にチャレンジしていく神戸市へ!

- 提案 1** 神戸経済の活性化と民間活力の導入
- 提案 2** 議員報酬・議員定数削減と政務活動費の情報公開を徹底
- 提案 3** 子育て世代への支援と教育の充実
- 提案 4** 地域包括ケアシステムの構築と高齢者・障がい者福祉の充実
- 提案 5** 兵庫県と神戸市の二重行政解消



「大規模公園のあり方」を提案! 神戸青少年公園(北区)の魅力向上へ!

令和4年3月14日 予算特別委員会 総括質疑

【山本のりかす議員】

大規模公園については、民間活力の導入などによるさらなる魅力の向上により、稼げる神戸市となるためのポテンシャルを有していると考えます。他都市ではアウトドアメーカーと連携の上、公園にホテルやバーベキュー施設などの施設整備を行っており、宿泊はもちろんのことイベントや登山用品などの販売を行っている地域がある。



市民1人あたりの公園面積が政令市で最も多いという利点を活かし、他都市の事例も参考にしながら神戸らしい要素を取り入れながら大規模公園の価値を高めていくべきではないか。加えて、現在の大規模公園ビジョン・神戸の未来に向けた大規模公園のあり方についての取り組み状況も確認したい。

【久元市長】

令和3年3月に策定し、大規模公園ビジョンに基づく公園のリノベーションに取り組んでいる。その基本方針の中で、利用サービスの向上や維持管理の効率化のために、民間活力を導入し、さらなる公園の魅力向上を図ることとしている。具体的には令和2年度に対象公園を選定し、サウンディング型市場調査を行った。この中には公園施設を設置運営する提案や、イベントやプログラムを実施する提案があり、神戸市が考えている事業計画や公園の課題に対して、提案の目的と効果から優先順位をつけ、事業化に向けた検討を進めている。今検討を進めているのが神戸青少年公園で、令和3年10月に2日間試験的に宿泊キャンプを行い、事業実施の上で必要となる施設や課題の検証を行った。ぜひこの機会にどのような可能性があるのかしっかり受け止めながら進めていきたい。



【山本のりかす議員】

神戸青少年公園の魅力向上に取り組むとともに、地元の方々の意見を聞き地域の活性化につなげていただきたい。加えて、ハード面の整備について、一部舗装されていない砂利道の道路を舗装していただき、一部古い看板は文字が見えないので、整備していただきたい。

財政の見通しをチェックし、改革を提言!

歳入(収入) 市に入るお金

- 税金(市税)
- 国や県からの補助金
- 公共施設の使用料
- 借金(市債)など

歳出(支出) 市が使うお金

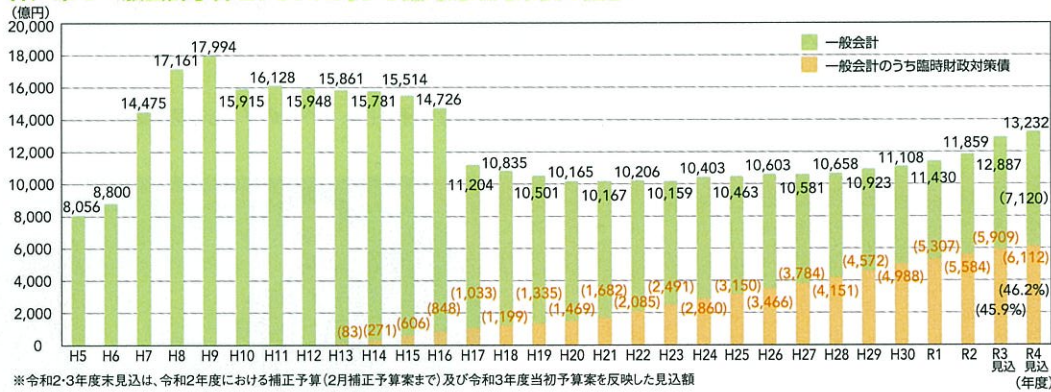
- 福祉や教育
- 道路などの整備・補修
- 公共施設の維持・管理
- 借金(市債)の返済など



稼げる神戸市へ転換!

子育て世代や福祉への予算配分へ!

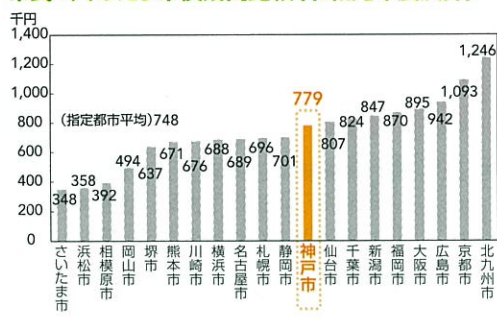
神戸市の一般会計予算と、それに対する臨時財政対策債の推移



※令和2-3年度末見込は、令和2年度における補正予算(2月補正予算案まで)及び令和3年度当初予算案を反映した見込額

神戸市における少子超高齢化による人口推計と、社会保障関係費等の増大を考慮した前提条件をもとに試算すると、対策をしなければ今年度の予算編成では収支不足額が生じる見通しとなっています。厳しい時代を迎えている現代においては行財政改革を推進し、財源を確保していかなければなりません。行財政改革をしなければ市民に負担として税金面等で跳ね返る可能性があります。従って、改革を実行し、次世代の子どものための未来のために政策提案してまいります。

市民1人あたり市債残高比較(令和元年度決算)



料金受取人払郵便

神戸中央局
承認
3845

差出有効期間
令和6年3月21日まで
(切手不要)

650-8790

924

神戸市中央区加納町6丁目
5番1号1号館29階
日本維新の会
神戸市議員団行

※日本維新の会神戸市議員団へのご意見やご提案をお書きください。

●文化スポーツ局●

「北区文化センター等の再整備」における
兵庫県産材を含めた北区の間伐材(又は竹)活用を提案!

【山本のりかず議員】

昨年10月の法改正で、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が名称変更し、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に改正されたこともあり、公共建築物について木材を利用する機運が高まってきていると感じる。令和7年度中の供用開始に向けて、旧北区役所跡地に整備することとなった新たな北区文化センターにおいては、北区という自然豊かな環境であることも踏まえ、内装の木質化など、兵庫県産材を含めた北区の間伐材などを活用した建築物にしてはどうかということを提案したい。



【加藤局長】

木材の活用は大変大事だと思っている。本市では公共建築物における木材利用促進に関する方針を平成28年に策定し、公共建築物の整備には木材利用を積極的にしていこうということで用途やコストも判断しながらできる限り神戸市産の木材とか兵庫県産の木材の利用に努めている。特に利用にあたっては、市民の目に触れやすい内外装の部分の基本にして建築工事の特記仕様書を改定し、原則使用しようという形での取り組みをしている。事業の財源確保の面でも、木材の利用拡大をすれば国からの配分される森林環境税贈与税があるので活用していきたい。

再整備における工事は、
神戸市内企業への発注を優先すべきことを提案!

【山本のりかず議員】

再整備における工事契約にあたっては、地域経済の活性化のためにも地元経済、地元企業への発注を優先すべきであると考えている。新たな北区文化センターと一体的に整備する、新たな北図書館の内装においても、例えば、提案として本の書棚などに兵庫県産材を使用し、環境に優しい温かみのある図書館とすることも一つの方法だと考える。また、SDGsの取り組みとして、北区の放置竹林問題を解決するために竹や里山整備に伴う北区の樹木を使用することで、カーボンニュートラルにもつながる。持続可能な社会の実現や地域経済の活性化に資する取り組みを期待したい。



(切り取り線)

あなたのお考えに当てはまるところに○をつけてください。

神戸市の現状に満足していますか?

①満足している ②ある程度満足している ③ふつう

④やや不満 ⑤不満(理由)

新型コロナウイルス感染症への神戸市の対応について、
満足していますか?

①満足している ②ある程度満足している ③ふつう

④やや不満 ⑤不満(理由)

神戸市の行政運営について、
提案や改善事項があればお書きください。

あなたがお住まいの地区のお困りことや
ご要望がありましたらお書きください。

例) 子育て支援について、支援強化など

ふりがな	
お名前	
ご住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

切り取ってポストにご投函いただくか、
メールまたはFAXでお送りください。

●こども家庭局●

子どもを出産する前の産前サポート事業の推進!

【山本のりかず議員】

妊娠・出産に不安を抱えている妊婦や、多胎妊婦・若年妊婦・特定妊婦等、支援が必要な妊婦を対象に保健師による専門的相談に加え、新たに助産師を派遣すると聞いている。神戸市では年間約1万人の子どもが生まれているが、誰もが安心して子どもを産み育てる街の実現に向けても、支援が必要な妊婦への支援は重要であると考えている。当該サポート事業は、実施に向けてどのような計画を考えているのか確認したい。



【東坂こども家庭局担当部長】

妊娠期は精神的にも不安定になったり、生活状況や環境の変化で本当に不安になりやすい時期であると認識している。この時期の支援というのは重要であると考えており、特に妊娠・出産に不安を抱える妊婦、多胎の妊婦や若年であるなどの特定妊婦等、支援が必要な妊婦の方々に対しては、個別で不安や悩みに応じる相談体制を充実させるということが重要だと考える。産前サポート事業については、助産師の派遣で対象者は年間600人ぐらいを想定している。窓口で妊娠届を出していただいたときに母子健康手帳を配付し、その際に保健師などが全員に面接をさせていただく。その中でいろいろな支援が必要なのではないかという妊婦の方を把握している。そのような方に対しては、保健師が訪問や面接、電話などでアドバイスするなど個別で対応している。また、出産や産後の生活に向けた準備を整えていくという部分では、助産師の方の派遣という形につないでいき、実施可能な事業所への委託ということで想定して準備を進めていきたい。

●教育委員会●

インクルーシブ教育の推進について提案! 共生社会の実現へ!

【山本のりかず議員】

障がいのある子どもと障がいのない子どもが、同じ場で共に学ぶ「インクルーシブ教育」については、障がいの有無に関わらず、障がいに対する知識が身につくだけでなく、自己肯定感や他者理解を深めていくことにつながる重要な取り組みであると認識している。現状、具体的にどのような取り組みを行っているのか考えをお聞かせいただきたい。



【藤原学校教育部長】

非常に重要なものと考えており、本市においてもインクルーシブ教育に取り組んでいるが、その一環として交流学級というものがある。これは、特別支援学級に在籍する児童・生徒が一定の時間数を通常の学級で学習するというもので、例えば得意な科目だけを通常学級で授業を受ける。普段は特別支援学級で過ごしているが、大勢の前で発表するといったことで自己肯定感を高める機会になっているのではないかと考える。国においても非常に重要だということなので、国の考え方を踏まえて引き続き取り組んでいきたい。



【山本のりかず議員】

昨年の東京パラリンピックにおいて「ボッチャ」競技が行われ、大きな盛り上がりがあったが、子どもの障がいの有無に関わらず活躍できることから、取り入れる学校も増えていると伺っている。神戸市の小中学校においては、主に特別支援学級に在籍する児童生徒が、通常学級と一緒に授業を受ける「交流授業」を行っているが、提案として通常学級にもこうした「ボッチャ」競技も取り入れるなど、工夫しながら積極的に進めていただきたい。

・インクルーシブ教育:障がいのある子ども、障がいのない子ども、すべての子どもを同じ場所(学校や学級)に包含して教育することです。

身のまわりでお困りのことを
ご相談ください!

あの道路が危険だ!道路や歩行者の通路が陥没している! または公園の管理など地域でのお困りことや行政手続きなどでお困りのことがあればご相談ください。ご自宅や地域の集会所、喫茶店など、どこでもお伺いします。地域に住んでいて良かったと思える神戸市にするために、皆様のご意見を行政や議会に届けていきます。地域の皆さんと共に、安全・安心の街づくりと住みやすい神戸市の未来をつくりましょう!



連絡先

■日本維新の会 神戸市議員団:〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 メールアドレス:info@kobe-ishin.jp
http://www.kobe-ishin.jp

■山本のりかず広聴事務所:〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字梅木谷23番地16-208
TEL&FAX(078)907-5601
https://yamamotonorikazu.com



(切り取り線)

もっと強く、もっと優しいまち 神戸へ!

さとうまちに通信 11号

発行元：日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL.078-322-0185
FAX.078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp



2021.7.2 建設防災委員会

神戸の美味しい水を広報として活用!

令和3年決算特別委員会第2分科会水道局質疑にて要望させていただきました、ラベルの刷新とQRコードによる水情報のリンクも実現いたしました。(私がデザインしたわけではないですが)デザインも好評をいただいております。今後、さらなるQRコードの活用(外国語対応、川や滝の動画)などについて提案しております。

令和3年 決算特別委員会(令和2年度決算) 第2分科会 水道局 2021.9.15

さとう:最後に要望なんですけれども、神戸の水道水のイメージアップのため、広報グッズの1つとしてポトルドウォーターがあります。以前にも御提案させていただきましたが、ボトルのラベル・デザインにつきましては、例えば、神戸の若手イラストレーターを登用するなど、多くの方々に積極的に手に取っていただけるような取組を心がけていたいただきたいと思っております。また、ボトルのラベルにQRコードをつけるなど、検討いかがでしょうか。例えば、布引周辺や六甲山の美しい景色とリンクすれば、水のイメージアップにもなりますし、外国の方々へのアピールにもなると思います。ポトルドウォーターは広報のためには必要とは思っていませんが、現在の知名度でもったいないとも思っております。広報グッズとして、今まで以上に活用するためにもぜひ御検討をお願いいたします。

令和4年 予算特別委員会(2022.3.9)にて

今後、500ミリリットルも製造。神戸インフォメーションセンターの他、北野工場のまちで販売を開始。今後も商業施設などで販路を広げる活動を行っていくとの事でした。

布引渓流の水 カウペウオータア



詳しくはこちら▶

https://kobe-wb.jp/kobewater/

ラベルの裏面には QRコードが!



令和3年 決算特別委員会(令和2年度決算)第2分科会

建設局 2021.9.17

さとう:千葉県八街市において、下校中の児童が犠牲となる事故を受け、国から通学路の合同点検を実施する方針が示されましたが、神戸市における対応はどのように考えているのか。三島建設局長:本市におきましては、従来より通学路の交通安全対策に取り組んでいる中で、まず平成24年に亀岡市で発生した交通事故を契機に、警察、教育委員会、危機管理室、建設局などで構成する神戸市通学路交通安全推進合同会議を設立いたしまして、継続的に通学路の危険箇所の把握、点検及び対策を実施してきております。その事故を受けて、文部科学省のほうから、当該事故の観点から、これまでの通学路安全点検の取組を補完する合同点検を行う旨の通知が7月9日付で、教育委員会宛てに発出されているところでございます。同日付で、警察庁及び国土交通省から道路管理者宛てに、合同点検への協力を要請するような通知も発出されております。継続的に危険箇所の抽出を行っており、警察と協力しながら、必要な安全対策を検討、実施しているところでございます。今後も引き続き、小学校や市民の御意見を聞きながら、新たな危険箇所の把握に努め、誰もが安全に利用できる道路を目指して取り組んでいきたいというふうに考えてございます。

さとう:建設局としてガードレールのみならず、何ができるかということも考えてもらえらるとお聞きしておりますので、子供たちを守るためしっかりとした取組をお願いいたします。また、西区、北区、垂水区等には、通学が遠距離になり、危険リスクが高い地域もあり、スカー

ルバスの必要性を感じる地域もあります。こちらは意見として述べておきます。子供たちの安心・安全な通学路に関しましては議論を重ねていただき、どこが地元の危険な箇所なのか、しっかりと継続的に把握していただく必要があります。後手、後手とならぬよう、事故が起こる前に、教育委員会との連携もしっかりとっていただきながらやっていただくように要望いたします。

令和3年 建設防災委員会 2021.7.2

さとう:治水関連事業についてお伺いいたします。高潮のときなどのことに対して、対応策が練られていますが、南海トラフのときの川の遡上に対しての対策はどの程度考えられているのか。

新見建設局担当部長:兵庫県におきまして、津波については、L2地震1,000年に一度の非常に大きな地震、南海トラフの地震の場合の浸水想定図というのが公開されております。そのときのシミュレーションの条件として、河川の遡上というものも一応考慮に入れており、堤防の高さ等が配慮され、神戸の河川の遡上で大きくあふれてしまうというようなケースはほぼ確認をされておられません。高潮等、あるいは河川の流量につきましても、それに見合った護岸の高さを整備してきておりますが、その高さである程度カバーがされているという中身になっていると認識しております。

さとう:想定外ということがないように、よろしくお伺いいたします。

Topic! 1

垂水養護学校と垂水体育館の跡地に

中核的医療施設 令和7年2月 開院予定!

神戸徳洲会病院整備事業計画書

産科・小児救急を含めた救急機能を持つ急性期病院として、また、在宅療養後方支援病院としても近隣の医療機関と連携を図り、地域の中核を成す医療機関となれるよう計画をすすめています。

名称 医療法人沖繩徳洲会 神戸徳洲会病院

場所 神戸市垂水区旭が丘2丁目66番

開院 令和7年(2025年)2月1日 ※予定

診療科目 216床(予定)

内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、心臓血管外科、小児科(入院・救急機能)、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科(入院・外来機能)、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、麻酔科

神戸徳洲会病院整備事業計画書

詳しくはこちら▶



このような病院に...

- 24時間365日、最善の医療を受けられる病院として
地域住民の方々へ、安心と安全を届けられる病院に
子どもや女性の"よりどころ"になれる病院に
院内の講堂が、地域コミュニティの場として、広く利用されるように
高齢者や障害者の雇用支援ができるような病院に

Topic! 2

~神戸・五色塚古墳アニメMVプロジェクト~

「ワンダリズム きみを呼ぶ声」



3月にウェブで 公開予定!

兵庫・神戸にある巨大遺跡、五色塚古墳を舞台にしたSFストーリー。遠い未来、全てが海に沈んでしまった世界で、主人公・なつしまが不思議な石に導かれて世界の秘密に迫る旅に出ることになる。アニメーターのしのさんが原案。



「ワンダリズム きみを呼ぶ声」

詳しくはこちら▶



社会における女性活躍推進のための質疑をしてきました。

●令和元年 外郭団体に関する特別委員会 2019.7.29

さとう:女性活躍推進がよく言われているが、今後、女性の管理職を増やすという取組みはあるのか。パッと見て、本当に男性ばかりと思いましたが。

西元神戸市道路公社常務理事:道路公社の場合、プロパーの職員として雇ってはございませんので、神戸市からの派遣がメインでございます。ですので、うちとしては能力を要求するだけで、女性が男性かというのを指定はしてございません。

●令和元年 外郭団体に関する特別委員会 2019.9.9

さとう:女性活躍に力を入れているということだが、どのように考えているのか。例えば、ママフレ(子育てに約立つホームページ)と連携していくとか、そういったターゲットを絞ったような発信というのはいかがか。今後展開がありましたらお伺いしたい。

川田公益財団法人神戸市産業振興財団常務理事:当財団に起業の相談に来られる女性の割合というのは年々上昇し、平成30年度では女性が47%となっている。実際に起業される方も4割近いという形で、非常に女性の起業の機運は高まっていると感じている。当財団においても女性起業家支援に積極的に取り組んでいるところで、今後とも効果的にやっていきたい。また、こども家庭局のママフレであったり、市民参画推進局のホームページなどと連携し、必要な情報を必要な方に届けるという広報に取り組んでいきたい。

さとう:支援の輪が広がり、女性も起業しやすいという世の中になれば良いと思う。ものづくりセミナーに至っては、保育施設、託児施設は充実しているのか、今後どういった方針でそれをやっていくのか伺う。

川田公益財団法人神戸市産業振興財団常務理事:他都市の動向も踏まえ、近隣の託児サービスとの連携なども研究をし、前向きに検討してまいります。

●令和2年 予算特別委員会第1分科会 2020.3.3 (令和2年度予算) 市民参画推進局



さとう:女性活躍推進のためにさまざまな取組みをされていたと思いますが、男性の意識改革についてお伺いいたします。女性活躍推進というと、女性のためのセミナーや制度の充実など、女性の対策ばかりが目立っていますが、女性に活躍してもらうためには、何よりもまず男性の意識を変えていく必要があると考えております。家庭での家事や育児において、男性も女性と同じ

ように分担をすべきと考えますが、できていない男性が多いとも伺っております。国は男性の育休取得率を上げようとしておりますが、育休は取っても、家事や育児ができない、家事や育児に積極的に参加しない男性もいるという話を多く聞きます。しかし、それはただの休暇となりますし、そういった意識が根強いと思われる。そうすると、男性の育休に関してもいまだ深い理解が得られないのではないかと考えます。社会等においても、上司などの育休制度への理解がまだまだ不十分であり、男性も含め、周りのサポートがもっと必要であると考えます。このような状況では、なかなか肝心の女性活躍が進んでいかないのではないかと危惧しております。女性の活躍推進には男性の意識を変える取組みが不可欠と考えますが、現状をどのように考えているのか。また、現在どのような対策を行っておられるのか。

岡田市民参画推進局長:女性活躍のための男性の意識改革という御質問でございましたけれども、御指摘のとおり、社会のさまざまな分野で、より一層女性が活躍をしていくためには、仕事と生活が両立できる環境づくり、これに向けた諸制度の充実はもちろんのこと、男性の意識改革、これまでの働き方や生き方を見直して、家事・育児等への男性の参画を進めていくことに対する理解、これを社会全体で進めていくこと、また、男性自身の意識の变革、これは大変重要であると考えている。女性の就業率も上昇してきている。また、共働き世帯の家庭も増加しているが、御指摘のとおり、家庭内での家事・育児等に関して、やはり役割分担の問題、あるいは長時間労働を背景に、女性の負担が依然として重い。これが女性の活躍が進まない一因となっているというふうに私ども理解をしている。

また、国の調査では、男性の家事・育児時間を増やすために必要なこととして、1つに残業が少なくなること、そして上司の理解など職場環境に関するもの、そしてそれ以外に、配偶者とのコミュニケーションの向上や男性の家事・育児のスキル向上が必要とする回答が多くあった。この男性の家事・育児スキルの不足が男性の実際の行動に大きな影響を与えているものであるというふうに考えている。一方、本市においては、企業の経営者あるいは管理職層を対象としたセミナーを行い、「すくらむKOBÉ」を発行し、育児休業を取得した企業の男性社員の声を取り

上げるなど、意識改革につながるよう取り組んでいる。また、市内中小企業の女性リーダーの育成を目的として、女性活躍推進プログラム@神戸を毎年開催をし、女性社員の上司に当たる男性にも研修の1カリキュラムに参加をいただき、この上司の役割、理解というものを深める取組みを一緒になって取り組んでいる。さらに、イクボス養成プロジェクトとして、部下のワーク・ライフ・バランスに理解のある上司をふやすためにワークショップを行ったり、また、男性の家事・育児への積極的な参加に向け、あすてっぶKOBÉにおいて男性向けセミナーを開催をする他、保健福祉局においてはプレパパママ食育講座を行っている。いずれにしても、御指摘のように、男性の意識を変えるための取組み、そして会社などにおけるサポートの必要性を訴える取組みというのを進め、女性活躍につながる、そういう意識を醸成していきたい。

さとう:男性の意識改革を進めていくためには、少数が参加するセミナーを開催するだけでは不十分ではないかと考える。家庭でのあり方や会社の対応など、どのようにすればいいかわからなく、他人事に捉える男性、親世代と同じようなふるまいをしてしまう男性が依然多いのではないかと。そこで、育休を取得しようとする男性全員にも、どのようにすればいいか、どう考えるべきかを学べるような研修を受けてもらいたい。例えば全ての職場で男性全員が受けなければいけない研修を実施など、何らかの方策が考えられないか。

黒田市民参画推進局副局長:男性の意識改革に向けた取組みの御質問ですが、女性活躍に向けた男性を含む社会全体の意識改革に向け、御指摘のとおり、事業者等と連携し、研修などさまざまな機会を通じて取り組むことを進める必要。本市では、市内の経済団体等27団体に御参加をいただきまして神戸市男女共同参画推進会議を開催し、各団体での取組み等に対する情報交換や意見交換、啓発事業等を行っている。昨年度は、この会議と共催で実施、企業経営者や管理者層等を対象としたワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催。新たに経済学的な視点を盛り込み、男性の家事が家計を助け、さらに男性自身の負担軽減につながる、そういうことをお知らせしたり、日本の男性の家事・育児参加水準は国際的に見てまだ極めて低いということであると、企業では忌引は一般的なのに、子供が生まれたときに休むことが一般的ではないのはどういうことなのかといった問題提起などもございまして、男性の経営者の方々からも大変好評であったと伺っている。

また、このセミナーに刺激を受け、今年度、男性育休100%宣言を行い、会社の男性の育児休業を取得しやすい社内制度を導入した結果、男性の育児休業の実績が上がったことを報告いただいた、そういう男性の役員の方もおり、男性上司の意識改革につながったことが実感できるものとなった。また、平成15年度から、男女がともに働きやすい職場づくりに取り組む市内事業所をこうべ男女いきいき事業所として101事業所を表彰。表彰事業所の中には、男性管理職の意識改革に取り組んでいる事業所や、育児休業を取得した男性・女性職員とその上司が参加してライフプランを含めたキャリア研修を実施している事業などもある。こうした先進的な取組みを情報紙、先ほど局長から申し上げました「すくらむKOBÉ」等で発信をいたしまして、市内の他の事業所の取組みの参考となるように努めている。また、令和元年度から、市内大学と連携し、大学生がゼミで表彰事業所を訪問。その取組みを大学生目線で市のホームページなどで発信する事業を行っている。大学のほうからも、大学生が直接企業の方々からさまざまな工夫や取組みを聞く機会がこれまでなかったと聞いていて、若年世代の意識改革や理解の促進につながる機会につながっていると考えている。個別の会社での研修など難しい面もあるが、今後も引き続き、御紹介したような市内経済団体等と連携し、効果的な手法での取組みを検討して、男性を含む社会全体の意識改革につながるよう努めてまいります。

さとう:セミナー、大切なんですけれども、育児の1日のサイクルを、例えば授乳しているときは家事をする、お風呂のときはお布団とか片づけ、洗濯をするなど、連携プレーということが本当に必要になってくると思いますので、そういった詳細のことを盛り込みながら、やっていただきたい。こういった取組を進めることによって、職場の課題が浮き彫りになってくることもある。ぜひ考慮の上、御検討よろしくお伺いいたします。

●令和2年 第2回定例会市会(11月議会) 2020.12.7

さとう:人口減少、超高齢社会を迎え、誰もが性別にかかわらずその意欲に応じて、個性と能力を発揮できる社会を実現する必要があります。女性活躍推進法の成立やコロナ禍において顕在化した様々な問題など、今後はあらゆる分野で男女共同参画、女性活躍の視点を持ち、広報啓発に取り組んでいく必要があります。

近年、働く女性の活躍を後押しする法整備は進展しておりますが、なお、実態面での男女の格差は残っており、特に我が国では女性の就業率は大きく上昇しているものの、就業する女性に比して管理職に就く女性の数が欧米諸国などに比べ低い水準となっております。本市においても、女性の管理職の割合は依然として低いのが現状であり、議会においても男女雇用機会均等法施行当時、すなわち30年以上も前から既に女性の管理職登用についての質疑が行われていることから考えても、今日までの取組の効果を疑問視せざるを得ません。今まで女性の負担が大きかったことが大きな要因で、今起こっている少子化問題はこれまでの政治、行政の生

み出した1つの残念な結果であるとも思っております。女性活躍の大きな弊害となっているのは明らかです。そこは1人産んでも2人目は難しいというゆえんでもあります。だからこそ、**市として積極的に取り組み、問題点を抽出し、精査しながら民間・市民に対してどんな支援を行うべきなのか、効率的かつ効力のある対策を講じていただきたい**と思います。それをするだけでも神戸市は市民に優しい市となります。それと、人材不足といいますが、潜在的なマンパワーはあります。社会がそれを受け入れる体制が整っておらず、安易な方向に走り、掘り起こしができてないだけと思われまます。縷々申し上げましたが、コロナ禍において、もともと



2020.12.7 令和2年第2回定例会市会11月議会

とあった女性の負担がさらに重くなったことは明白な事実なので、これを機に女性活躍推進のさらなる推進を実効的に行える取り組みをお願いいたします。

神戸市女性職員の活躍推進計画
(令和3年3月)

詳しくはこちら▶



● **令和3年 第2回定例会市会(9月議会)**

2021.9.6

さとう:例えば、**労務職の女性は募集さえしていなかった**ということもあった。たとえ応募がなかったとしても、**性別が職業選択の障害とならないよう、常に門戸は広く広げておいていただきたい**。女性の活躍を言いますのは、やはり**神戸市の大きな課題として、人口の流出**というのがある。その一因として、市民の皆様のお声が十分に反映できていない結果とも感じております。**今まで足りていなかった女性の登用によって、より市民の皆様へ寄り添った施策ができ、より元気にぎわいのあるまちへとなるのではないかと考えます**。一番の広報は口コミ。神戸市民が他都市の方々へ神戸の良さや、住み良さなどを1人1人が広報できるような施策が増えていけばと願っております。

女性職員の登用につきましては、昨年の11月議会でも市長からも力強いお言葉を頂き、目指すところは同じで、思いも同じと思っております。今西副市長からも、管理職になることへの女性職員の意欲を醸成するなど、積極的に取組を進めてまいりたいとの御答弁もいただきましたが、職員の皆さんはじめ、一般企業においても、働く側からの一番大事なことは、限られた時間で、より効率的に働くことができるシステムと、万一分が抜けたときにも、周りのフォロー体制が整っているということが必須だと思います。

そして、このたびは家庭の役割が多くなりがちであることから、女性活躍としましたが、もちろん、LGBTQの方々も含め、誰もが引け目なく個性を發揮し、活躍できる神戸市となることを願っております。

→その後、令和3年第2回定例会市会にて、**市長より、労務職職員の性別要件について女性活躍の推進や雇用機会の確保の観点から、令和4年度採用選考、すなわち令和5年4月に採用される職員からということになりますが、性別要件を撤廃したいと考えている**との発言あり。

土砂災害
特別警戒
区域

**レッドゾーンの支援制度
について質疑。**

● **令和4年 予算特別委員会(第2分科会)**

2022.3.7

さとう:次に、レッドゾーンの支援制度についてお伺いいたします。

近年、豪雨災害の危険を及ぼす大雨の発生頻度は増加しており、これからますますその危険性は高まり、**日本におきましては過去10年ほどで実に97%以上もの市町村で水害、土砂災害が発生しております**。土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーン指定により、**既存不適格となる住宅が移転・改修支援制度を設けていることは承知しておりますが、例えば定期的に聞き取り調査をするなど、支援制度を周知するためにどのように取り組んでいるのか**お伺いいたします。

新見建設局担当部長:レッドゾーン内の移転・改修支援事業についてでございます。御指摘の移転・改修支援事業につきましては、土砂災害による危険からの住民の生命の安全を確保するために、**土砂災害特別警戒区域内にありす住宅等の所有者に対して、移転や改修の支援を行うもの**でございます。この支援制度の周知につきましては、やはりレッドゾーンが指定された直後というのが、市民の方の関心が非常に高い状態になっております。そういうタイミングで周知を行っていくことが、やはり効果的ではないかというふうにご考えておまして、したがって、指定を受けたタイミングで全ての住宅を対象に、区域内の住宅を対象に、お知らせ等を送付するなど、個別に郵送して送付するなどの丁寧な対応に努めきたところでございます。以上でございます。

さとう:レッドゾーンの指定というのはいつされるんですか、1年に1回でしたか。

新見建設局担当部長:レッドゾーンにつきましては、兵庫県のほうが各区、北区をスタートに順次指定をしまいいりまして、実は昨年度末で一旦、神戸市内は全体レッドゾーンの指定が完了しております。今後につきましては、法に基づいて一定期間、5年程度をめどに、地形の改変等の見直しを行いながら、指定の再度更新をしていくというような形になっておまして、現在は市域は一定指定がされた状態になっております。

さとう:この移転制度、**すごく充実されている**かと思うんですけれども、**何件の利用があったのか**お伺いいたします。

新見建設局担当部長:制度そのものは、委員御指摘のとおりかなり手厚いものにはなっておりますが、実は使用の実績、**支援制度を使用された実績**というのは、**今現在把握しているのが1件**です。正直いまして、あまりまだ進んでおりません。一方、周知のほうは、先ほど申し上げましたように、レッドゾーンに指定された段階で、全ての住宅にお知らせをしておりますので、我々が把握している範囲では、周知のほうはかなり進んでいるかと思っております。ただ、じゃあ使われているのがなぜ進まないのかという辺りが、何か**やはり原因があるんだろう**ということ、**モデル地域を設定して、昨年度からレッドゾーンにお住まいの方の意向調査**なんかをしております。その結果なんかを見ていきますと、やはり1つのことだけ、土砂災害だけということではなくて、いろいろなその地域の問題が複合的に絡んでいるということが、ちょっと見えてきておまして、使用しやすい制度になるように、今、研究を進めているところでございます。

さとう:モデル地域の設定ということをお伺いしたいんですけれども、ちょっとまた常任(委員会)のほうで、また聞いていきたいと思っております。【時間制限により】

**レッドゾーンの住宅にお住まいの方々への
移転・改修支援制度**

詳しくはこちら▶



2021.9.6 令和3年本会議

● **令和4年 予算特別委員会(第2分科会)**

水道局 2022.3.9

- 水道修繕受付センターの認知度向上について
- 検診票の活用について→裏面のさらなる活用の提案をしています。
- 検診票の電子化について ● スマートメーターの導入について
- 他都市との連携について ● 導入への条件整備について
- 再生可能エネルギーの活用について ● 水力による発電について
- 再生可能エネルギーの広報について など

水道修繕サギ^{ゼロ}を目指しましょう!と、質疑いたしました。

神戸市からのお知らせ

悪質業者にご注意!

水もれ・排水管のトラブルは
水道修繕受付センターへ
0120-976-194 24時間
365日

神戸市水道局・建設局下水道部

KOBE WATER LABO

楽しい研究などが満載の
キッズページです
大人も楽しめますよ!

詳しくはこちら▶

路上喫煙・ポイ捨て問題に取り組んでいます! (日本維新の会 川口議員)

令和4年 予算特別委員会局別審査/環境局 2022.3.3

川口まさる議員:条例により、市民等には、路上喫煙しないよう努める努力義務があるが、路上喫煙禁止地区以外に罰則は無い。

J R 舞子駅の灰皿をめぐる受動喫煙の問題に環境局として対応すべきだと思うがどうか。

環境局:舞子駅前のたばこ屋さんがお店の横に灰皿を設置している。民有地につき、たばこの吸い殻入れを置くこと自体には、条例上制約は無いが、結果的に路上喫煙を招いてしまうことが問題である。環境局においても、路上喫煙者に注意指導を行い、「路上喫煙・ポイ捨て防止」の看板を設置する等対応を行っている。また、路上喫煙指導員による巡回指導を新たに始めたほか、来年度は、民間の啓発員による巡回指導も実施をしたい。

川口まさる議員:私は責任ある個人の自由意志が最も重要だと考えており、行政による、市民の行動や習慣に対する干渉は、できるだけ少ない方が良いと考えている。しかし、喫煙の自由は、誰かが間近を通る場合には制限されるべきだ。大阪市の条例においても、神戸市と同じように市民等に努力義務があるが、罰則は禁止地区内に限定されている。その**大阪市の松井一郎市長は、市内全域を路上喫煙禁止地区とする方針**とのことだ。神戸市においても、条例の喫煙禁止地区の指定を含めて、対応を検討するよう要望する。

建設防災委員会では、動物園についての議論を進めます。

令和4年 建設防災委員会

2022.2.18

さとう:やっぱりここは皆さんとネットやワークショップなど対話型の話し合いを重ね、神戸市はこういう考え方なんですという説明をしっかりと、納得していただき進めていく。神戸市民ありきの、市民の皆さんがいるから神戸市がありますので、その辺りを大事にして進めていただきたい。話し合いの場というのはこれから持っていただければいいのでしょうか。

三島建設局長:今回のパブリックコメントの素案を出したときに周知の仕方が悪いとか、そういう御意見もいただいておりますし、説明会も急に言われて何かという御意見もあったように私はパブコメの意見読んで思っております。そういう形ではやはり丁寧にもう少し話していかなあかんのかなということがございますので、パブコメでいただいた意見を受けながらどうやっていくことが一番いいのかというのは考えさせていただいて対応していきたいと思っております。

我が会派より、「令和4年度予算代表質疑(2022.2.24)」にて王子公園再整備(素案)

の策定プロセス、大学誘致、一部スポーツ施設の廃止、王子動物園の老朽化対策について質疑いたしました。2021年12月に提出された「王子公園再整備基本方針(素案)」については、市民への周知や理解が得られておらず事業計画の策定プロセスの透明化を求めました。また、大学誘致公募の基準や条件、廃止予定スポーツ施設(テニスコート・プール・サブグラウンド)の存続への提案、動物園の老朽化対策や園舎の環境整備などについて質疑いたしました。素案の中身については一定の見直しを図る答弁があり、動物園については、老朽化対策、動物福祉に配慮する観点から再整備のプランを考え、新たな整備案が出されることとなりました。今後も更なる議論を重ねて参ります。

殺処分ゼロに向けてさらなる取り組みを!

令和3年 福祉環境委員会

2021.6.21

さとう:動物管理センターの猫の殺処分の数についてはかなり減少してきているが、殺処分ゼロに向けてさらなる取組が必要。そのために、動物管理センターにおいてケージを増やすなど、保護できる収容頭数を増やして譲渡につなげていく取組が必要と考えるが。

丸尾健康局担当部長:猫の殺処分数につきましては、平成28年の神戸市人と猫との共生に関する条例が制定された時が406頭、令和2年度は95頭まで減少ということで大幅に減少しております。特に殺処分の多くを占めていた子猫につきましては、347匹から50匹と、7分の1程度まで減ってきており、繁殖制限事業の成果が出てきているものと考えております。一方、大人の猫なんですけれども、現在、市で引き取るものは、多頭飼育されていて、あまり飼育環境がよくなく人慣れしていないような猫については、気性がなかなか荒くて、譲渡になじまないというものについて、殺処分せざるを得ないというようなものもあるのは事実でございます。今、しあわせの村に新しい共生センターを造っておりますが、それと併せ、現在の動物管理センターにつきましても令和3年中に改修を行う予定をしており、猫の保管室を整備、収容頭数が今の24頭から40頭程度増加して64頭を予定。そうしますと、気性の荒い猫につきましても、今までよりもゆっくりと慣らしていき、また、譲渡可能か



こうべ動物共生センター

どうかについても、時間をかけて丁寧に判断ができるようになる。昨年度から、譲渡前に聞いていただく講義の一部を映像でネットに流すなど市民の方にも見ていただきやすいような工夫もし、新センターについては、立地場所が良く、多くの方に来ていただけるのではないかと考えている。また、現センターの改修も活用し、今後もさらに譲渡の促進、殺処分の削減に努めて参りたい。



しあわせの村にドッグランを!

令和元年 外郭団体に関する特別委員会

2019.12.13

さとう:しあわせの村は土地も非常に広くパーキングも多い。ドッグランなどの予定というのはないのか。

藤井保健福祉局担当部長:委員御指摘のそのドッグランにつきましては、愛犬家のマナー向上とか、あるいは犬を通じたコミュニティーの形成など、一定の効果があるというふうには考えている。その一方、人や犬同士のかみつき事故であったり、あるいは鳴き声やにおいの対策という課題もある。有識者会議の議論も踏まえながら今後検討してまいります。

さとう:神戸市内にはドッグランが少ない。しあわせの村を犬の散歩に使っておられる方も非常に多くニーズがある。出来れば作っていただきたい。

子宮頸がんワクチンの周知について

令和3年 予算特別委員会
(令和3年度予算)第2分科会

健康局 2021.3.3

さとう:子宮頸がんワクチンの接種率は諸外国に比べて非常に低いと聞いている。市では二十歳の女性を対象に子宮頸がん検診無料クーポンを配布するほか、新たに定期接種対象者である小学6年生から高校1年生相当の女子児童に対してリーフレットを送付する予定とのことだが、その際は、ワクチンの効用性、リスクについての正しい知識を普及していくことが重要であると考えている。具体的にどのような方法で周知を行う予定か。

伊地智健康局担当局長:神戸市では11月に、定期接種の期間がもう過ぎようとしているまず高校1年生の約6,000人の方に個別通知を送り、それを読んでいただき100人前後の方がすぐに受けられた。来年度は小学校6年生から高校1年生がこの定期接種の対象者になりますので、その全ての女子の対象者の方に同じようにリーフレットを個別にお送りさせていただいて、啓発、情報の提供を図りたい。

その次の年には小学校の6年生の接種期間の初めの年にリーフレットを配って、知っていただくのも1つの方法と思う。リーフレットにこだわらず予防接種ナビ、ホームページ、それらでいろいろな面で情報提供を続けていきたい。

●子宮頸がん(HPV)ワクチン予防接種の積極的な勧奨の差し控えにより、公費での接種機会を逃した方に対する予防接種(キャッチアップ接種)

キャッチアップ接種対象者:平成9年度~平成17年度生まれの女子
接種の期間:令和4年4月~令和7年3月までの3年間
対象者に、令和4年6月頃に個別通知を行っていく予定。併せて、定期接種対象者にも個別通知を行っていく予定。

●HPVワクチンの接種を自費で受けた者に対する償還払いについて

キャッチアップ接種対象者のうち、定期接種の対象年齢を過ぎて、子宮頸がん(HPV)ワクチンの予防接種を自費で受けた方に対する接種費用の償還方法については、現在検討中です。

申請に必要な書類として、

- ①接種記録が確認できる書類(母子健康手帳や予診票の写し等)及び
- ②接種費用の支払いを証明する書類(領収書等)の提示を想定しています。

厚生労働省 子宮頸がんワクチンについて 詳しくはこちら▶



神戸市学校園 現場視察

桃山台中学校では、三年生の英語と数学で理解度に応じたグループに分けて教える「習熟度別指導、少人数授業」を実施しています。全ての子どもに同じ授業を受けさせると、どうしても理解度に差ができてしまい、子どもたちが授業についていけなくなり、学校が面白くないと感じてしまうようなこともありますので、習熟度クラスは非常に良い取り組みだと思いました。何より、子どもたちや保護者のニーズが高く、大きな役割を果たしているようです。

また、区内小学校において、放課後に学校の教室で地域の方が宿題や九九の暗記に付き添う「放課後学習」が実施されていました。私も見学に伺いましたが、ここでは、一人一人に付き添いますので、子どもたちも嬉しそうに宿題やドリルに取り組んでおりました。日頃、共働きで忙しいご家庭などでは、子どもたちへの細かなお声かけが難しいこともあると思います。学校、ご家庭以外の第三者に褒めてもらうことも大切なことです。そして、こういった取り組みは週に1度ではなく、週に3度ほどは必要なのではないかと感じました。私もシングルでフルタイム勤務の中、子育てをしていた頃は、子どもたちの勉強をゆっくり見てやれる時間を取るのには難しかったことを思い出します。

このように子どもたちに寄り添った支援が、市内全ての学校で行われると良いですね。



ウクライナ侵攻に抗議する議決を...

全会一致で採択!



令和4年3月1日の緊急の本会議で、ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する議決を全会一致で採択しました。

武力によるロシアの攻撃は、平和に暮らすウクライナの人々の命を奪い、人権を踏み躪り、国際社会の秩序を大きく乱すものです。到底許されるものではありません。

一刻も早い収束を願います。ウクライナ大使館宛に、心ばかりの寄附をさせていただきました。

日本維新の会神戸市議員団

垂水区広聴事務所

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町1丁目3-11

080 2420 8727

satomachikobe10@gmail.com